

# トラックバックで コメントを伝える

## XMLとXSLTを使ったトラックバック機能の実装

大澤 文孝

OSAWA, Fumitaka

### Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:

### Level



### Samples

・この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DOTNET¥F01\_03ディレクトリに収録しています。

#### ¥TRACKBACK

本稿で取り上げたトラックバックのサンプルプロジェクト

#### ・\_README.TXT

サンプルに関する注意書き

### はじめに

ブログでコメントを伝え合うのに用いるのが、「トラックバック (TrackBack)」です。

トラックバックは、単純な定型書式のデータを送信するだけの仕組みなので、ASP.NETを使って簡単に実装できます。

本稿では、トラックバックを送信する方法と、受信したトラックバック情報を保存しておき、それをWebページにコメント一覧として埋め込んで表示する仕組みを作っていきます。

### トラックバックの仕様

トラックバックは、ブログの先駆者とも言える「Movable Type」(<http://www.movabletype.org/>) で使われている仕様です。仕様書は、

<http://www.movabletype.org/docs/mttrackback.html>

で参照でき、Movable Type以外のブログでも多く使われています<sup>[注1]</sup>。

トラックバックの仕様概略を示すと、図1のようになります。

### コンテンツとトラックバックを受け取るプログラムとの関係

コンテンツを公開する者がトラックバックを受け取りたいならば、トラックバックを受け取る何かしらのプログラムを用意して、URLを1対1で割り当てます。

たとえば、特集1-2「RSSで更新情報を配信する」で説明した「Read.aspx/YYYYMMDD」というURLでコンテンツが公開されているとします。

このとき、このコンテンツに対してトラックバックを受け取りたいなら、TrackBack.aspxのようなWebページを用意して「TrackBack.aspx/YYYYMMDD」といったURLでトラックバックを受け取れるように構成します。

注1) 最近では、ブログだけでなく商用サイトでもトラックバックが使われ始めています。たとえば、翔泳社のショッピングサイト「SEshop.com」(<http://www.seshop.com/>)では、陳列商品にトラックバックを送れるようになっています。

